2013年3月9日

当社の事業概要と今後の展望

株式会社　ウチヤマホールディングス

大証JASDAQ　証券コード　6059

HEART & EARTH

Ⅰ．会社概要と業績

１．プロフィール
２．フィロソフィー
３．社会貢献活動
４．当社グループの概要
５．当社グループの歩み
６．業績サマリー（連結）
７．セグメント情報
８．同業他社比較

1. プロフィール

社　　名	株式会社ウチヤマホールディングス
本　　社	福岡県北九州市小倉北区熊本2-10-10
設　　立	2006年10月（前身は1971年6月）
代　表　者	代表取締役社長　　内山　文治
連結従業員数	正社員1,472名、パート・アルバイト等2,150名 合計3,622 名（2012年12月末）
事 業 内 容	● 介護事業 ● カラオケ事業 ● 飲食事業 ● その他(不動産、通信、ホテル)

2. フィロソフィー

ウチヤマホールディングス
UCHIYAMA HOLDINGS

ウチヤマホールディングス　基本理念

慈愛の心
尊厳を守る
お客様第一主義

ウチヤマホールディングス　スローガン

幼青老の共生
幼年～青年～老年、共に楽しく過ごせる
社会作りを目指します。

「日本一の接遇とオペレーション」を目指す

3. 社会貢献活動

- 地震被災者の施設での受入れ
  （福岡西方沖地震、東日本大震災）

- 世界の子どもたちの支援
  （チャイルドスポンサーシップ、ラオスでの小学校建設）

- ホームレスへの炊き出し

- 緊急雇用支援対策

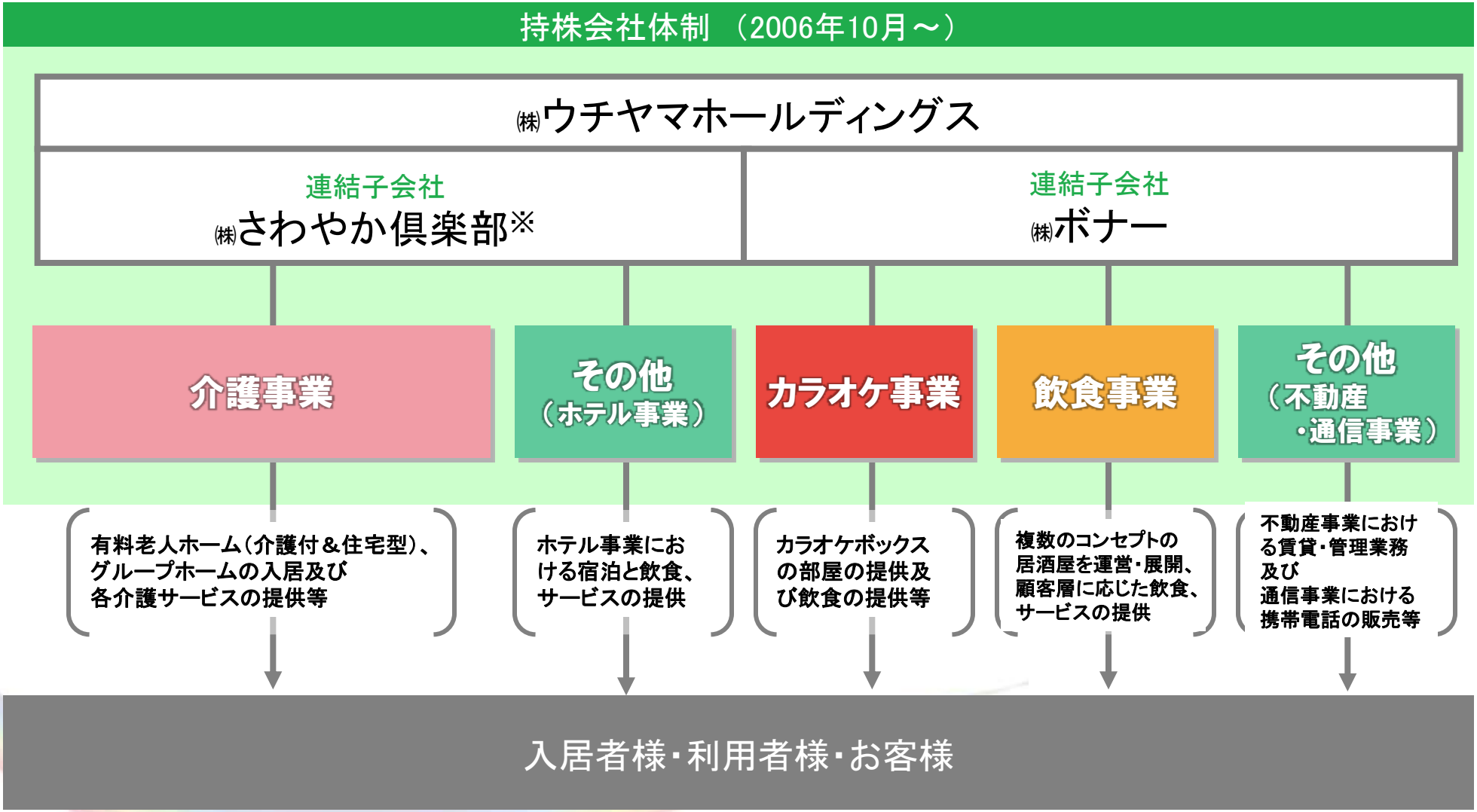
- 著名人による特別講演会の主催
  （安倍晋三氏、乙武洋匡氏、五木寛之氏、日野原重明氏、
  船井幸雄氏、石原結實氏、渡辺淳一氏、鎌田實氏、
  水谷もりひと氏、安田瑛胤氏、村上和雄氏ら）
  2013年5月9日　第18回特別講演会　講師：茂木健一郎氏

福岡西方沖地震被災者の施設での受入れ

ラオスでの小学校建設

著名人を招いての講演会

4. 当社グループの概要



※ ㈱さわやか倶楽部は、2012年12月1日付で㈱さわやか天の川を吸収合併いたしました。

5. 当社グループの歩み

Foundation: 不動産事業の開始

1971年　6月　不動産の販売、賃貸管理を目的として福岡県北九州市小倉北区に内山ビル株式会社を設立

カラオケ事業スタート

1991年　4月　福岡県北九州市八幡西区にカラオケボックス１号店『コロッケ倶楽部黒崎店』を開店

飲食事業スタート

1995年　11月　福岡県北九州市小倉北区に飲食事業１号店の居酒屋『酒膳房然』を開店

介護事業スタート

2003年　4月　介護付有料老人ホーム及びデイサービスの併設施設「さわやかパークサイド新川」を福岡県北九州市戸畑区に開所

2004年　12月　介護部門を新設分割し、福岡県北九州市小倉南区に株式会社さわやか倶楽部を設立

2005年　11月　株式会社コウノを存続会社として関連会社６社を吸収合併し、株式会社ボナー（現株式会社ボナー）に商号変更

Constitution: ウチヤマホールディングス設立

2006年　10月　福岡県北九州市小倉北区に株式移転により、株式会社さわやか倶楽部、株式会社ボナーの持株会社として株式会社ウチヤマホールディングスを設立(資本金285百万円)

2008年　7月　株式会社さわやか倶楽部にて、ホテルと住宅型有料老人ホームの併設施設『さわやかハートピア明馨』を開所

2010年　5月　株式会社さわやか天の川にて、大阪府枚方市に介護付有料老人ホーム『さわやか枚方館』を開所

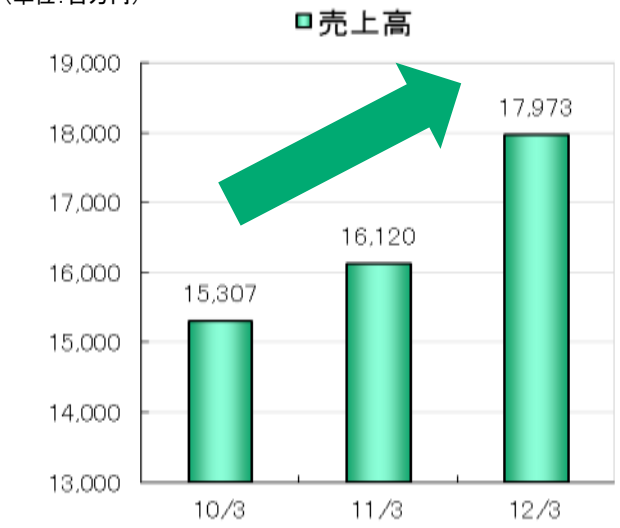
Further growth: JASDAQ上場

2012年　4月　大阪証券取引所ＪＡＳＤＡＱ（スタンダード）に株式を上場

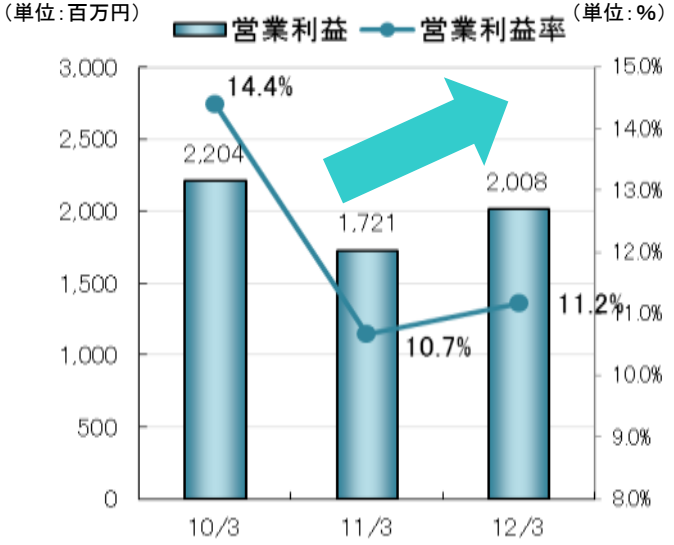
2012年　12月　株式会社さわやか倶楽部が株式会社さわやか天の川を吸収合併

6. 業績サマリー（連結）

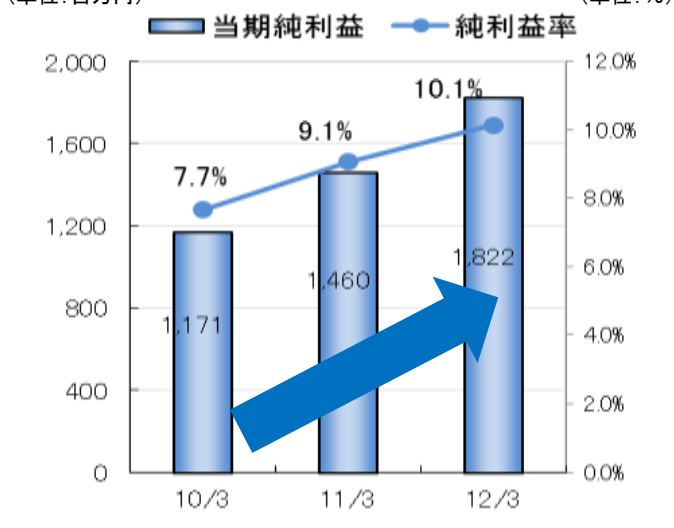
（単位：百万円）



（単位：百万円）　（単位：%）

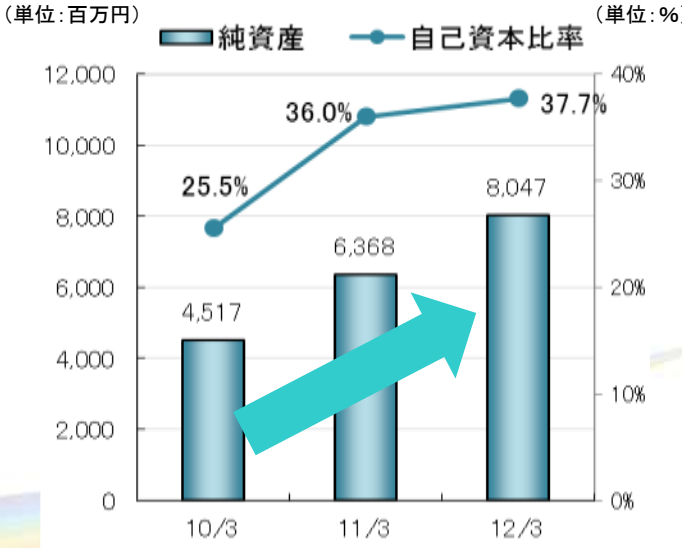


（単位：百万円）　（単位：%）

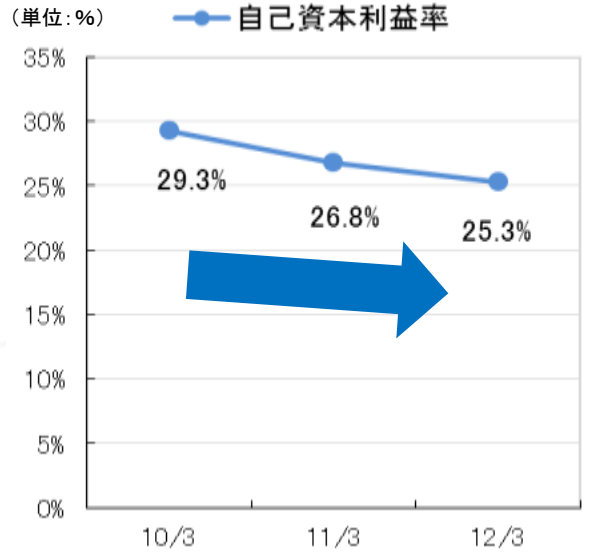


（単位：百万円）

（単位：百万円）　（単位：%）

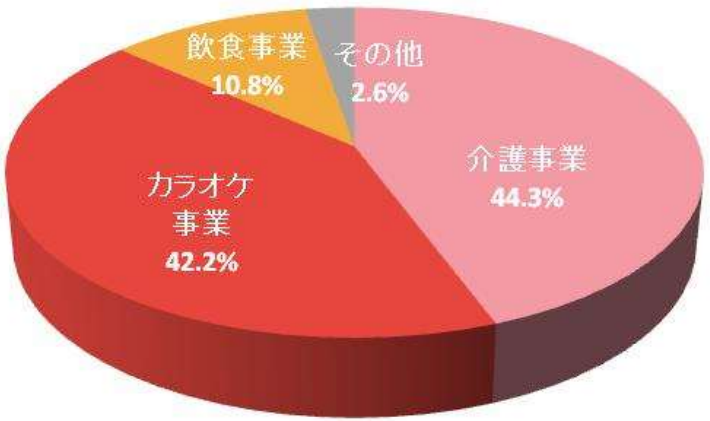


（単位：%）



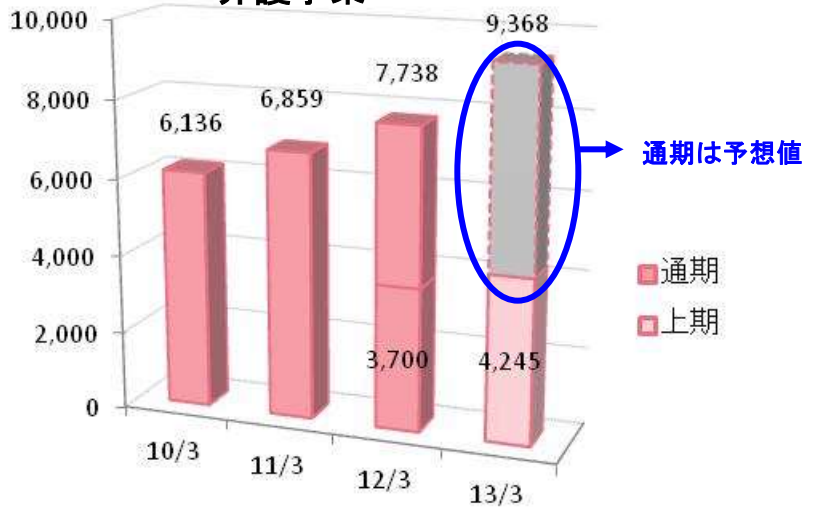
7. セグメント情報

各事業部門の売上構成（2013/3上期）



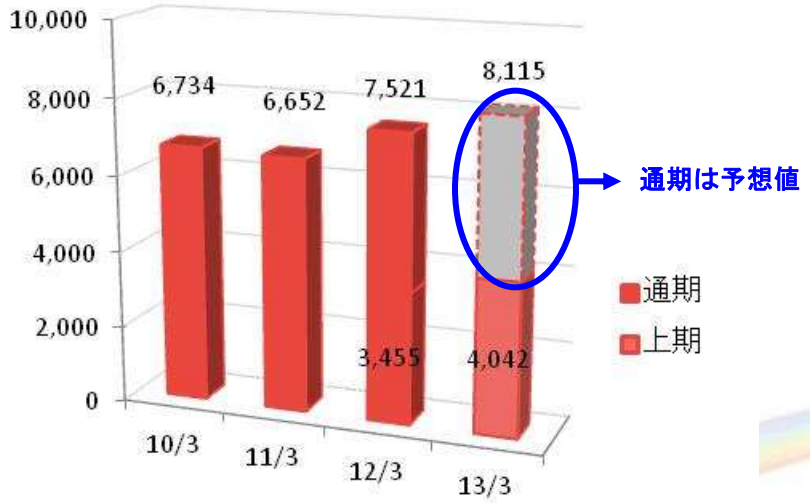
（単位：百万円）

介護事業



（単位：百万円）

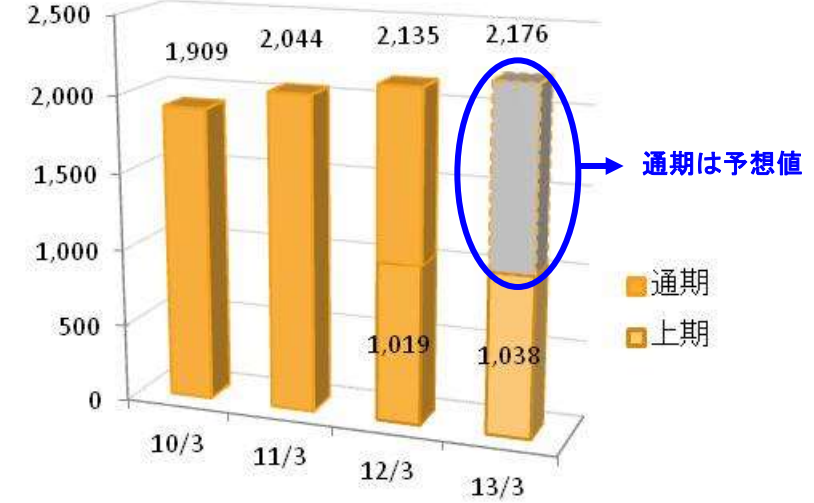
カラオケ事業



※ 各セグメントの売上高には内部売上高を含んでおります。

（単位：百万円）

飲食事業



※ 前上期（2011/9）の数値については、正式な監査を受けておりません。

8. 同業他社比較

（単位：百万円）

介護

㈱さわやか倶楽部

コード	社名	決算期	事業/全社区分	売上高	セグメント利益	営業利益率
7522	ワタミ	12/3期	介護事業	28,486	4,935	17.3%
6059	当社	12/3期	介護事業	7,738	1,254	16.2%
2400	メッセージ	12/3期	全社ベース	38,632	5,872	15.2%
9792	ニチイ学館	12/3期	ヘルスケア部門	138,275	10,142	7.3%
9783	ベネッセHD	12/3期	シニア・介護事業	66,539	4,668	7.0%

カラオケ

㈱ボナー

コード	社名	決算期	事業/全社区分	売上高	セグメント利益	営業利益率
6059	当社	12/3期	カラオケ事業	7,521	1,236	16.4%
7458	第一興商	12/3期	カラオケ・飲食店舗事業	45,117	7,140	15.8%
2157	コシダカHD	12/8期	カラオケ事業	18,543	2,692	14.5%
8214	AOKI HD	12/3期	カラオケルーム運営事業	14,308	1,338	9.4%
4837	シダックス	12/3期	レストランカラオケ事業	48,116	2,430	5.1%

飲食

㈱ボナー

コード	社名	決算期	事業/全社区分	売上高	セグメント利益	営業利益率
6059	当社	12/3期	飲食事業	2,135	232	10.9%
3073	ダイヤモンドダイニング	12/2期	飲食事業	18,287	1,775	9.7%
2762	三光マーケティングフーズ	12/6期	全社ベース	25,884	1,751	6.8%
7522	ワタミ	12/3期	国内外食事業	76,842	3,605	4.7%
7616	コロワイド	12/3期	全社ベース	101,879	3,203	3.1%

※各社の決算短信等、公表資料を元に作成。

Ⅱ．事業の概要

１．介護事業の特徴
２．カラオケ事業の特徴
３．飲食事業の特徴

1. 介護事業の特徴　①運営施設数

福岡県内でドミナント展開を積極化しつつ、全国化へ

種類別・地域別の施設数（カッコ内は定員数）

（2013年3月9日現在）

施設の種類	福岡県	その他九州（大分県）	九州以外	合計
● 介護付有料老人ホーム	15カ所（1,071名）	―	11カ所（949名）	26カ所（2,020名）
● 住宅型有料老人ホーム	11カ所（688名）	2カ所（86名）	2カ所（123名）	15カ所（897名）
グループホーム	6カ所（79名）	―	―	6カ所（79名）
小規模多機能型居宅介護	3カ所（75名）	―	―	3カ所（75名）
デイサービス（併設含む）	14カ所（359名）	―	3カ所（54名）	17カ所（413名）
ショートステイ（併設）	15カ所（159名）	―	6カ所（84名）	21カ所（243名）
ヘルパーステーション（併設）	8カ所（ー）	1カ所（ー）	2カ所（ー）	11カ所（ー）
ケアプランセンター（併設）	3カ所（ー）	1カ所（ー）	2カ所（ー）	6カ所（ー）

※ ● 印は、当社の主力サービスを表す

1. 介護事業の特徴　②運営施設の事例

各種介護サービスを展開

介護付有料老人ホーム

さわやか住吉館
大阪府大阪市住吉区苅田10丁目6番17号

住宅型有料老人ホーム

さわやか野方館
（比較的軽度の介護向け）
福岡県福岡市西区野方4丁目34番1号

住宅型有料老人ホーム

さわやかハートピア明礬
（ホテル併設）
大分県別府市大字鶴見（明ばん）1190-1

グループホーム

グループホームあおいうみ
福岡県行橋市西宮市1丁目12番33号

単独型デイサービス

さわやかさくら山荘
福岡県北九州市八幡西区東川頭町5番34号

小規模多機能型居宅介護

さわやかむなかたのもり
福岡県宗像市自由が丘2丁目17番1号

1．介護事業の特徴　③介護施設におけるイベント（1）

ウチヤマグループの基本理念

- 慈愛の心
- 尊厳を守る
- お客様第一主義

入居者様の生きがいづくり

必要とされる施設の運営

外出レクリエーション

毎月のお誕生日会

別府への温泉旅行

ケータリングサービス

1．介護事業の特徴　③介護施設におけるイベント（2）

畑作り

ぬか漬づくり

ボランティアとの交流

活力朝礼

見学者のご案内

季節ごとの行事

1. 介護事業の特徴　④グレートカンパニー大賞 受賞

グレートカンパニーアワード　大賞とは

- 株式会社船井総合研究所（東証一部、9757）は、独特のビジネスモデルで持続的成長を続ける会社を称えることを趣旨に、「グレートカンパニーアワード」を創設
- 第3回目となる2012年は、同社の約5,000社の取引先の中から最高賞となる「大賞」を、当社グループの「さわやか倶楽部」が受賞いたしました

＜受賞理由＞

①介護施設の入居率が98％と非常に高い。その高い入居率を支えるのは、お客様の高い顧客満足。

②その顧客満足は、至れり尽くせりの豪華なサービスによるものではなく、高齢者に生きがいや、社会の中での「役立ち」を感じてもらう取組みによって支えられている。

(1)幼稚園などに訪問し、昔の遊びを教えるなど、業界では珍しいボランティア活動を行ってる。

(2)介護施設の運営にも積極的に入居者が参加。

- スタッフ向け朝礼への参加や、施設の改善提案だけでなく、外来の見学者に対する施設の案内や紹介なども入居者が行っている。
- 一大イベントである社員の誕生日会には、200～300 人が参加して盛大に開催。ここにも希望される入居者や、社員の子供が飛び入り参加したりと、社員と顧客と家族とが一体となった盛り上がりが見られる。

③業績も好調で今年、業界でも珍しいジャスダック市場への上場（持株会社のウチヤマホールディングスとして）も果たした。高齢者を高齢者扱いするのではなく、生きがいや社会への貢献といった真の顧客満足を追求する姿勢を評し、グレートカンパニー大賞を贈らせて頂いた。

（2012年6月8日　船井総研ニュースリリース要約）

2. カラオケ事業の特徴　①店舗網

レストラン＆カラオケ「コロッケ倶楽部」を九州中心に展開

全国85店舗
（24時間365日営業 ※）

※ 一部の店舗を除く
（2013年3月9日現在）

福岡県	35店舗	大分県	6店舗
佐賀県	4店舗	宮崎県	6店舗
長崎県	1店舗	鹿児島県	4店舗
熊本県	5店舗	沖縄県	4店舗
		九州地区	65店舗

広島県	2店舗
山口県	9店舗
中国地区	11店舗

三重県	2店舗
滋賀県	1店舗
兵庫県	1店舗
近畿・東海地区	4店舗

東京・新橋店
3月7日オープン

東京都	4店舗
茨城県	1店舗
関東地区	5店舗

レストラン&カラオケ
コロッケ倶楽部

2. カラオケ事業の特徴　②店内の模様

「コロッケ倶楽部」の主な特徴

当社のカラオケ店の多くは、24時間営業

博多駅前店

マヨ＆チーズインツイン
ハンバーグ定食　（790円）

たっぷり野菜倶楽部 ちゃんぽん（680円）

■代表的なスペック

- 立地：郊外型と駅前（繁華街）の両方
- 部屋数：30室程度
- 設備：郊外型は十分な駐車場を確保

■主な特徴

- 明るい雰囲気、安心感、安全性
- 豊富な食事メニュー
- カラオケは常に最新機種を装備
- 高齢者向けの割引サービスを実施
- 家族的で、健康的な店内

→ 高い集客力（子供からお年寄りまで幅広い顧客層）

3. 飲食事業の特徴　①店内の模様

炭焼きダイニング・バー
かんてきや

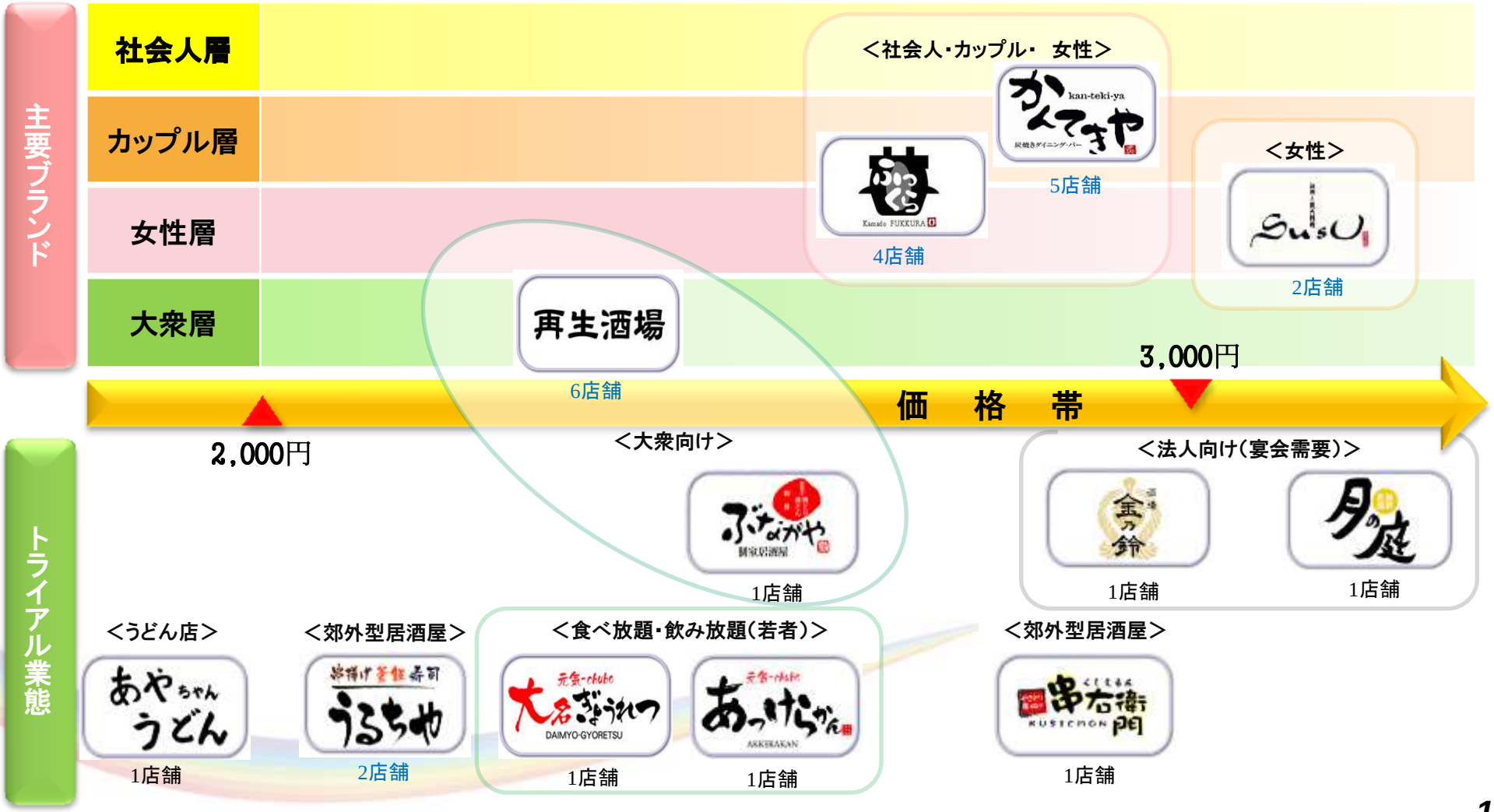
かまど
ふっくら

もつ煮込・やきとり
再生酒場

3. 飲食事業の特徴　②運営業態

豊富な業態で幅広い客層をカバー。福岡県中心に展開

合計26店舗うち福岡県内20店舗　（2012年3月9日現在）



Ⅲ. 特徴・強み

1. 基本的な特徴・強み
2. シナジー効果
3. 人材育成
4. 高いオペレーション効率
5. 高い入居率

1．基本的な特徴・強み

① 事業間シナジーの高い構造

② 「人材力」の高さ

③ 屈指のオペレーションノウハウ

高 収 益 構 造

2. シナジー効果①

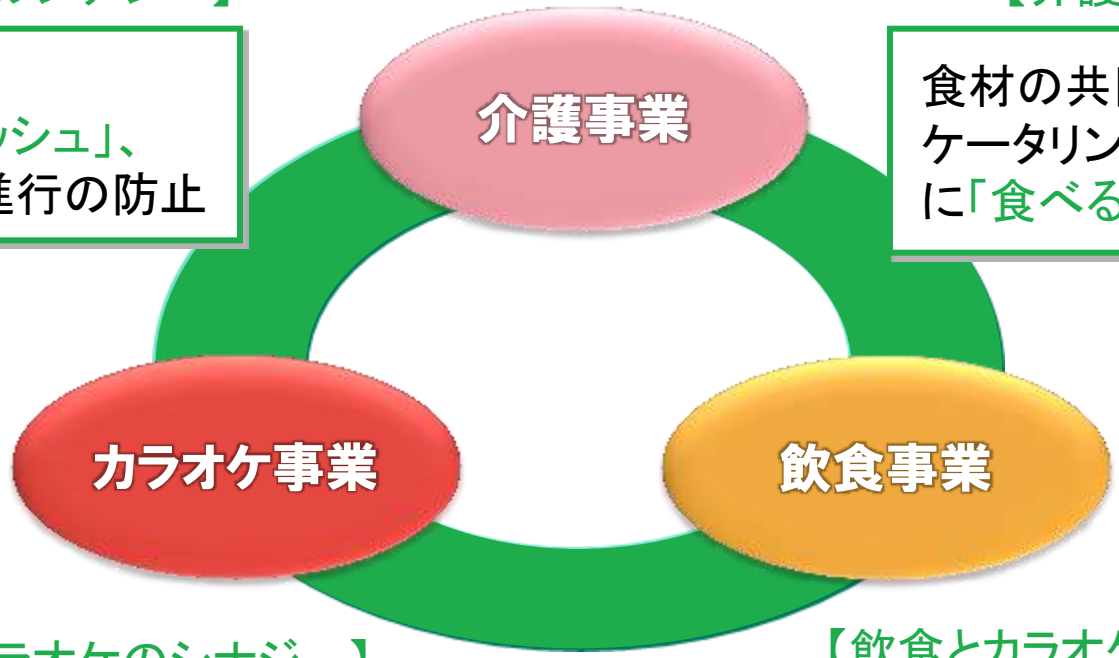
事業間シナジーが生む高い顧客満足度及びローコスト

【介護とカラオケのシナジー】

入居者様の
「心身のリフレッシュ」、
認知症予防と進行の防止

【介護と飲食のシナジー】

食材の共同仕入れに加え、
ケータリングを通じて入居者様
に「食べる楽しみ」を提供する。



【飲食とカラオケのシナジー】

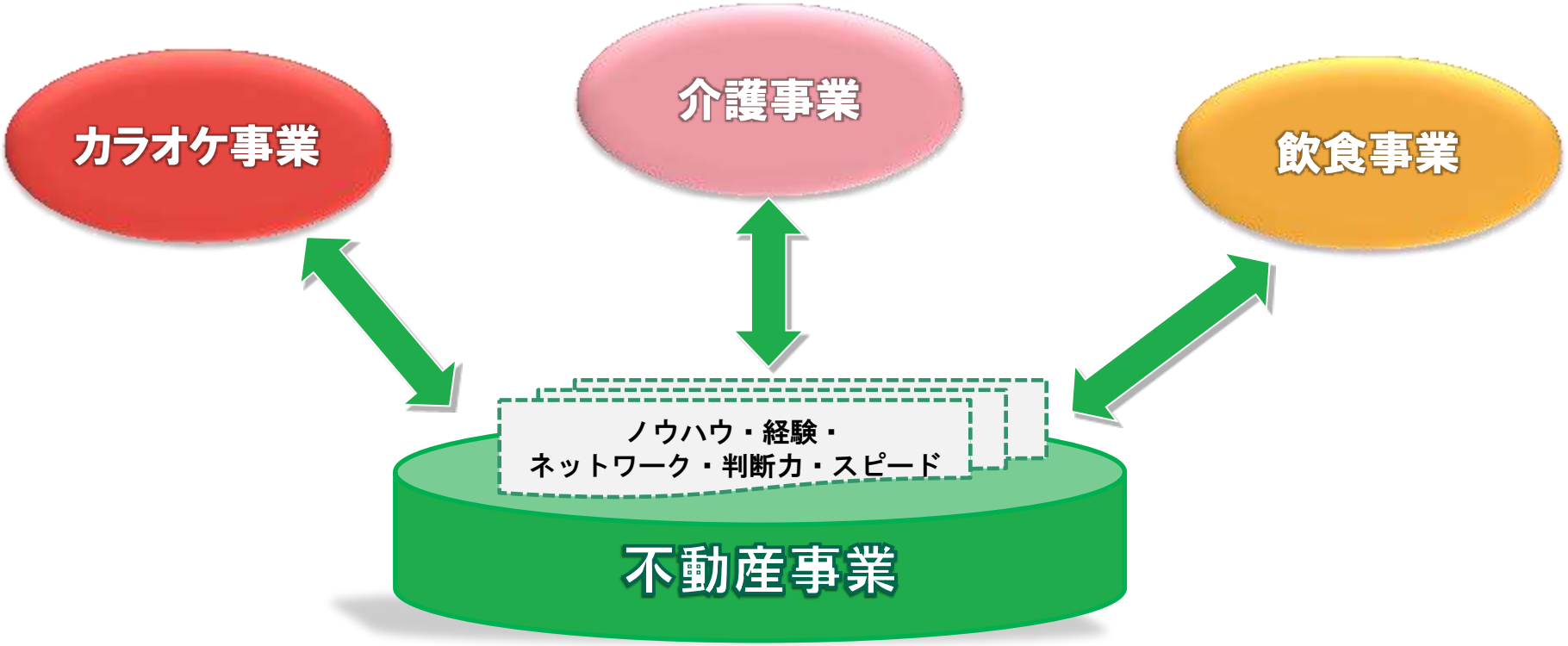
繁華街で飲食後にカラオケ
という顧客の回流が生じ、
「集客力の向上」が可能。

【飲食とカラオケのシナジー】

食材の共同仕入れ、
料理人の有効活用などに
より、「低コスト化」を実現

2. シナジー効果②

40年以上に渡る不動産のノウハウを生かしたローコストオペレーション



①ビル等の建築ノウハウを活かし「住み心地の良さや過ごし易さ」
「効率性や実用性を重視した設計」「建築コスト低減」を追求
②不動産情報のネットワークから、「好立地・集客力」を実現

2. シナジー効果③

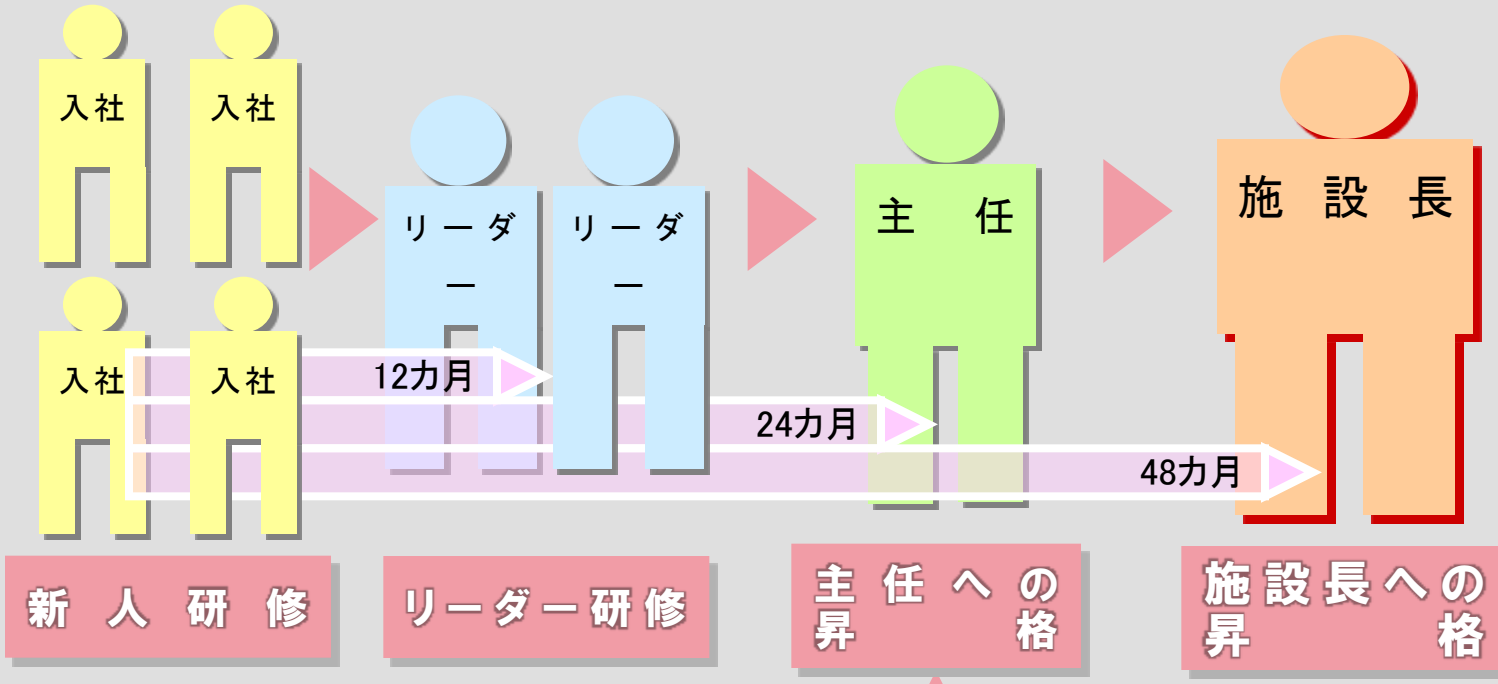
事業間の連携

ケータリングサービス

●飲食部門の社員が介護施設に出張し、
お客様の目の前で調理したものをふるまう

3. 人材育成　さわやかアカデミー

介護事業　人材力を生み出す「独自の教育研修制度」



- 資格取得を奨励するため、社内研修制度を充実
- 社内テストも実施する
- 資格保有は評価対象

4. 高いオペレーション効率

「人間力」の高さ・効率重視の施設設計　→　高いオペレーション効率

独自の人材育成システムによるホスピタリティの高い人材

【人材育成システム】

- ●年間500時間の研修・勉強会
- ●認定制度
  - ・独自の社内資格制度を確立
  - ・インセンティブによる取得促進

【看護・介護職員1人当たり利用者数】

- ●当社　2.5～2.7人
- ●特定施設事業者平均　1.9人

（出所）厚生労働省「平成23年介護事業経営概況調査」

働きやすい施設構造

【低層の施設・広い共用部】

- ●低層の施設で効率運営
- ●広い共用部で見渡しやすい構造

5. 高い入居率

独自の運営システム → 高い入居率

入居者様と家族の目線に立った
入居しやすく退居しやすいシステム

施設への入居一時金不要 ※

（※さわやか枚方館を除く）

＋

満足度の高いホスピタリティ

＋

**入居者様家族のクチコミによる
さわやかブランドの浸透**

高い入居率

【入居率　業界比較】

- **当社（2011年度平均）　95.8%**
- **業界の特定施設事業者平均　88.8%**

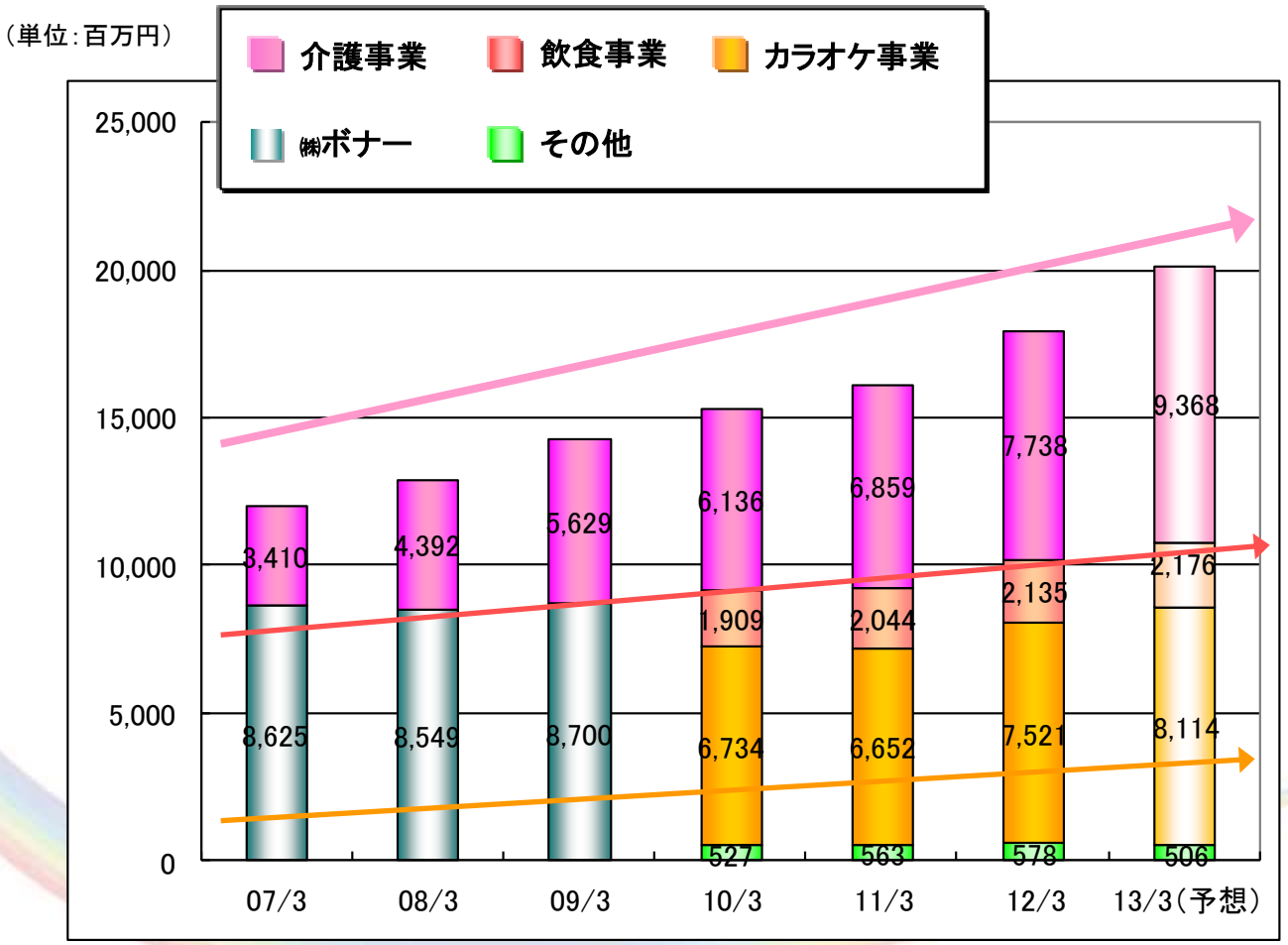
（出所）厚生労働省「特定施設入居者生活介護の基準・報酬について」
（社保審－介護給付費分科会第84回資料）

Ⅳ. 成長戦略

１. 成長戦略の基本方針
２. 介護事業の戦略
３. 全国化のイメージ
４. 業績予想
５. 株主還元
６. 株価チャート・基本情報

1．成長戦略の基本方針

事業別の売上高の推移



介護事業

成長の原動力

介護事業に経営資源を集中し、
積極的な施設展開を継続

カラオケ事業・飲食事業

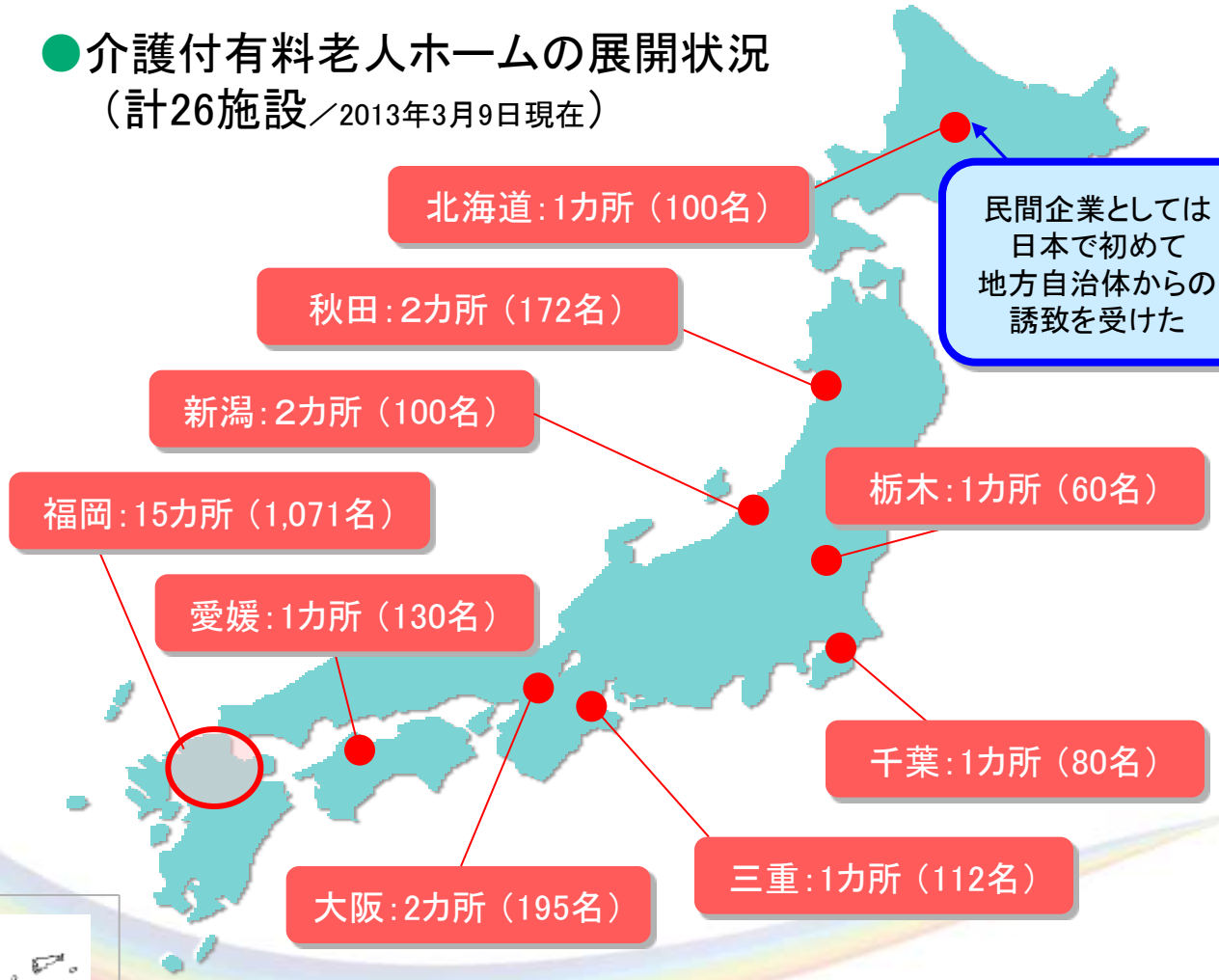
安定収益力

選別出店により既存エリアに
おける競争力を維持・向上

2. 介護事業の戦略　①特定施設の展開

戦略1：　特定施設の積極展開

●介護付有料老人ホームの展開状況
（計26施設／2013年3月9日現在）



さわやか東神楽館　2010年8月開所

●地元九州への密着を維持しつつ、全国展開へ向けての前進を図る。

●総量規制の動向を注視しながら、未開拓の地域に施設開設を進める。

●政府・自治体に加え、民間企業からの誘致にも積極的に応じる。

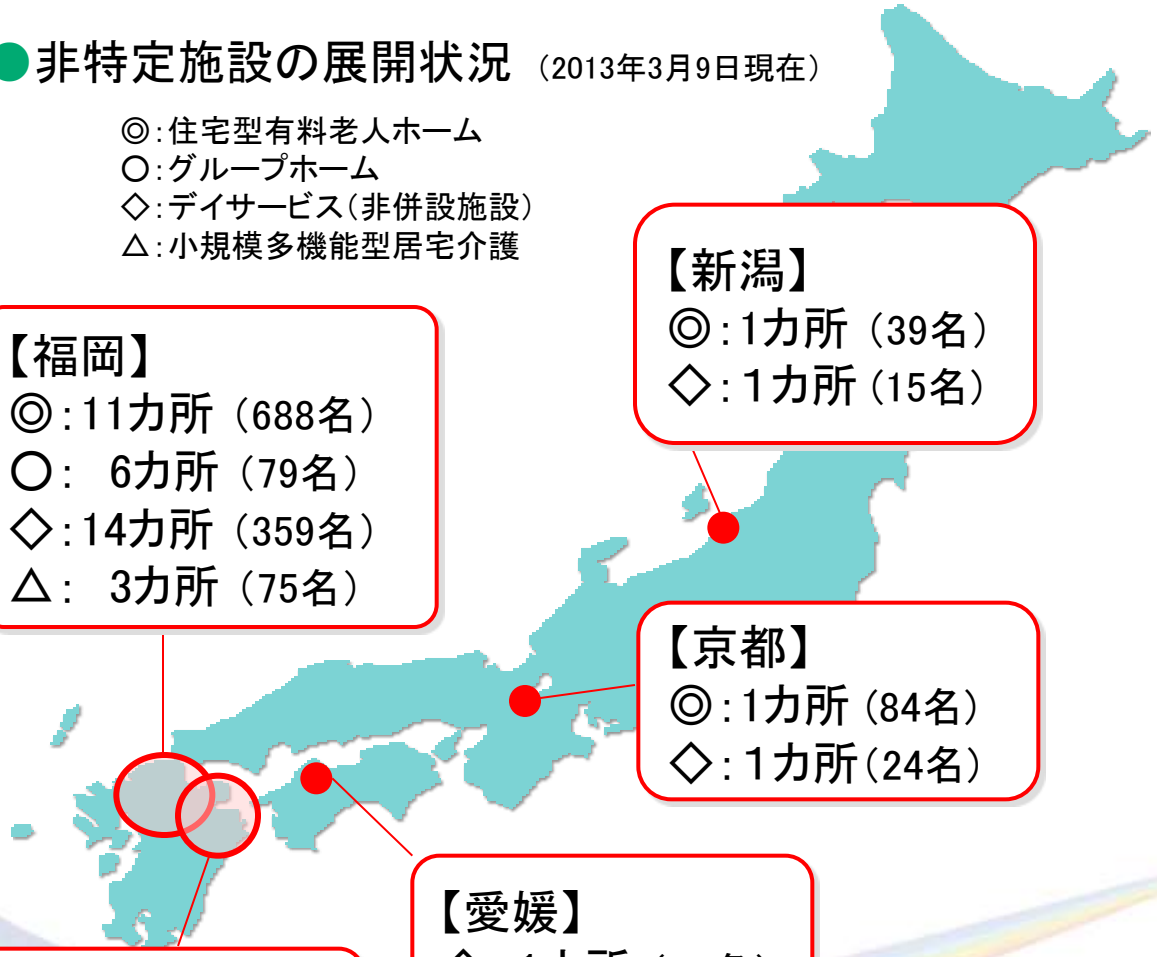
●既存施設と同様に「慈愛の心」、「尊厳を守る」、「お客様第一主義」の基本方針を徹底して貫く。

2. 介護事業の戦略　②住宅型施設等の展開

戦略2:　住宅型施設等の強化

●非特定施設の展開状況（2013年3月9日現在）

◎:住宅型有料老人ホーム
○:グループホーム
◇:デイサービス(非併設施設)
△:小規模多機能型居宅介護



【新潟】
◎:1カ所（39名）
◇:1カ所（15名）

【福岡】
◎:11カ所（688名）
○:　6カ所（79名）
◇:14カ所（359名）
△:　3カ所（75名）

【京都】
◎:1カ所（84名）
◇:1カ所(24名)

【愛媛】
◇:1カ所（15名）

【大分】
◎:2カ所（86名）

●住宅型有料老人ホーム、グループホーム、デイサービス、小規模多機能型居宅介護等、地域社会のニーズに応じた介護施設の開設を図る。

●まず地元福岡県あるいは九州域内での施設を増やすことに注力する。

●高いオペレーション効率を維持し、飲食・カラオケなど他事業とのシナジー効果発揮も狙っていく。

●既存施設と同様に「慈愛の心」、「尊厳を守る」、「お客様第一主義」の基本方針を徹底して貫く。

3. 全国化のイメージ

独自の思想に基づく事業の全国化を目指す

介護施設、カラオケ・飲食店舗のあり方

単なる利用価値（余生・余暇を過ごす場）だけではなく、
1施設・1店舗への期待を超えた付加価値を提供

- 地域コミュニティとの交流やふれあいの場づくり
- 地元における雇用機会の創出
- 職業体験学習の受入れ（地元の学校との連携）

全国化

この輪を着実に
全国へと拡大
していく

九州地区でのドミナント確立

4. 通期(2013/3期)の連結業績予想

今期の連結業績予想

(単位:百万円)

	前期実績 (2012/3)	通期予想 (2013/3)	前期比増減 (百万円)	増減率
売上高	17,973	20,166	+2,193	112.2%
(対売上比)	(100.0%)	(100.0%)		
営業利益	2,008	2,196	+188	109.4%
(対売上比)	(11.2%)	(10.9%)		
経常利益	2,372	2,070	△302	87.3%
(対売上比)	(13.2%)	(10.3%)		
当期純利益	1,822	1,348	△474	74.0%
(対売上比)	(10.1%)	(6.7%)		
1株当たり当期純利益(円) ※	497.1	297.7	△199.4	―
1株当たり配当金(円) ※	40.0	40.0	±0	―

※ 当社は、2011年12月7日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。
表の1株当たりの数値は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算出しております。

5. 株主還元

配当金について

※ 当社は、2011年12月7日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。
表の1株当たりの数値は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算出しております。

	第2四半期末	期末	合計	連結配当性向
2011年3月期（実績）	20円	20円	40円	9．5%
2012年3月期（実績）	20円	20円	40円	8．0%
2013年3月期（予想）	20円	20円	40円	16．4%

株主優待について

ご対象株主さま	ご所有株式数	ご優待内容
毎年3月31日の株主さま	100株以上	ご優待券（5,000円分）

※ 当社子会社の株式会社さわやか倶楽部が運営するホテルならびに株式会社ボナーが運営するカラオケ店舗及び居酒屋店舗でご利用いただけるご優待券（5,000円分（1,000円×5枚））を贈呈いたします。発行は、年1回を予定しております。
※ ホテルは1回の宿泊ご利用につき1人当たり1,000円×5枚まで、カラオケ店舗及び居酒屋店舗では、1回のご利用につき1組当たり1,000円×2枚までご使用いただけます。
※有効期限はご優待券到着日より翌年6月30日までとさせていただきます。

6. 株価チャート・基本情報

＜2013年2月28日現在＞

【株価(終値)】	1,806 円
【発行済株式数】	463.3 万株
【時価総額】	83.7 億円
【一株当り利益(実績)】	497.1円
【PER(連結実績)】	3.63 倍
【PBR(連結実績)】	0.85 倍
【配当利回り】	6.64 %
【単元株数】	100 株

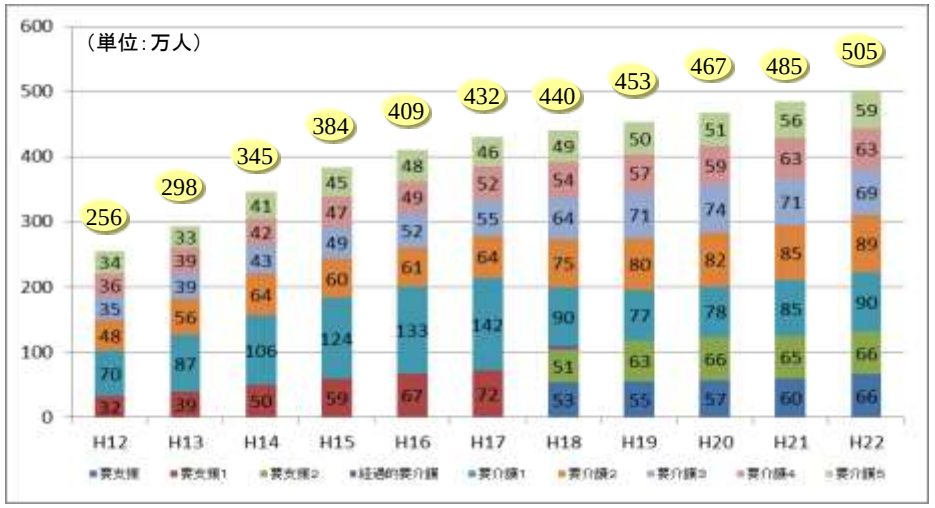
ご清聴
ありがとうございました

Appendix

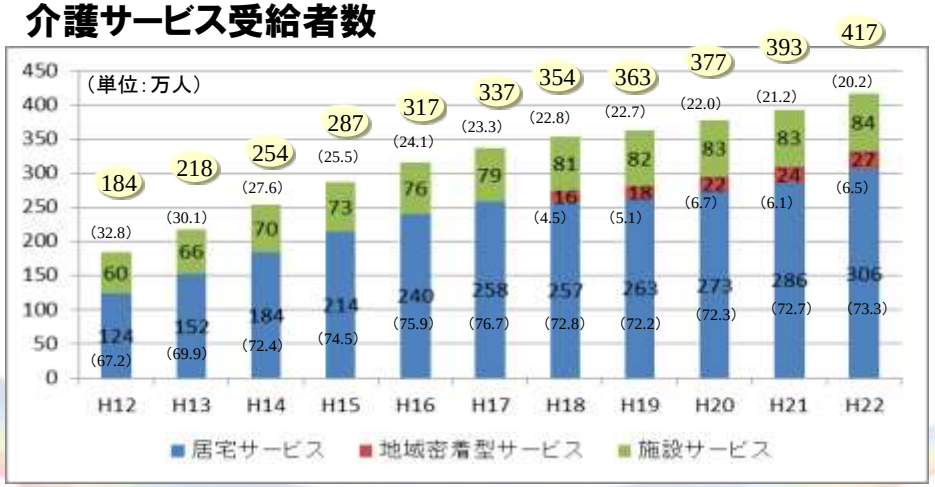
1. 介護市場の動向
2. 介護施設の概要

1．介護市場の動向 （参考1/7）

要介護(要支援)認定者数

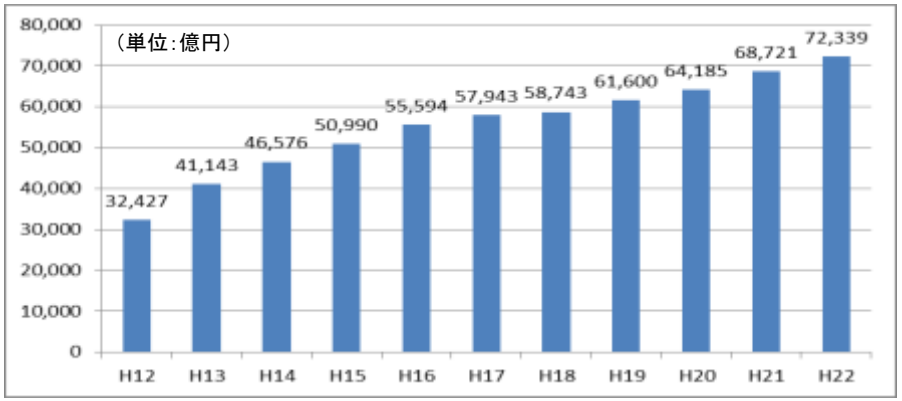


介護サービス受給者数



（注1）各年度とも3月から2月サービス分の平均。ただし平成12年度は、4月から2月サービス分の平均。
（注2）平成18年度の地域密着型サービスについては、4月から2月サービス分の平均。
（注3）平成22年度については、3月末時点の暫定値。

（参考1）年度別介護サービス給付費の推移



（注1）特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費、高額医療合算介護サービス費を含む。
（注2）平成22年度分は、月次ベースの暫定値を合算。

（参考2）年度別(居宅、地域密着、施設別)介護サービス給付費の推移

（注1）()は各年度の構成比。平成22年度分は。月次ベースの暫定値を合算。
（注2）特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費、高額医療合算介護サービス費を含まない。

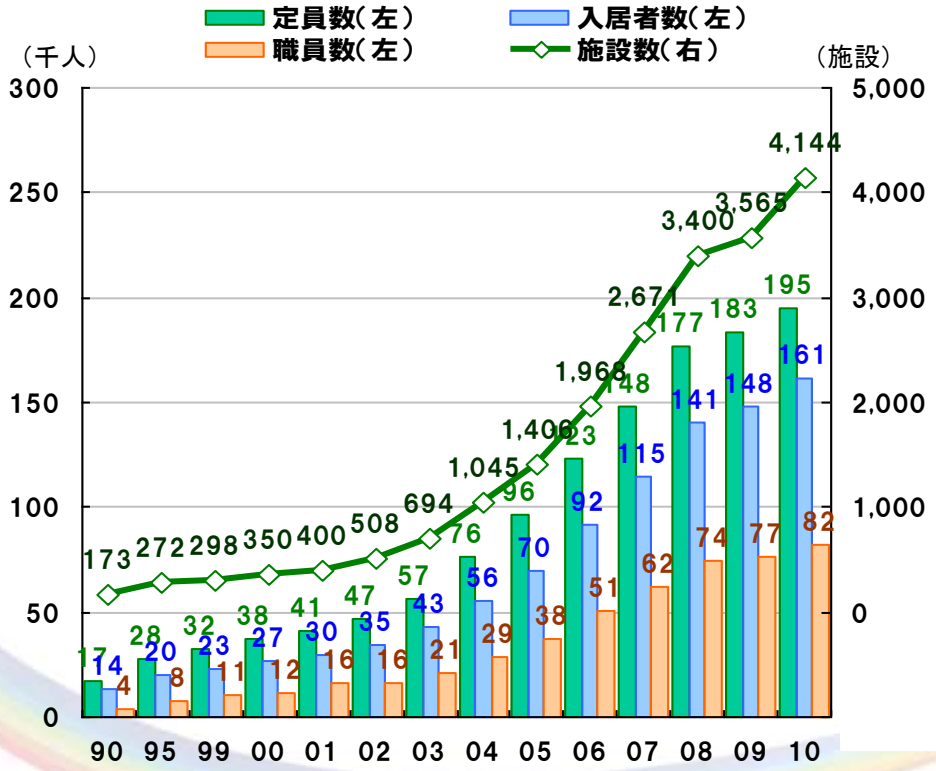
（出所） 厚生労働省「介護保険事業状況報告（平成22年度暫定値）」

1. 介護市場の動向 （参考2/7）

介護保険法施行（2000年）後、急拡大を続けてきた有料老人ホーム市場も、足下は伸び鈍化

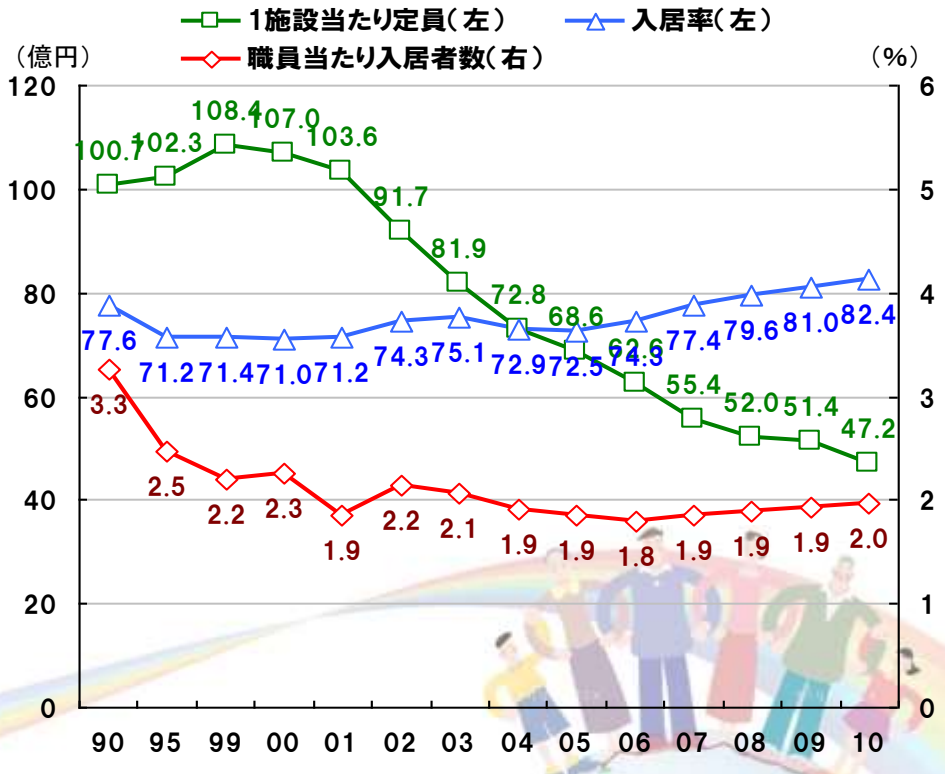
施設規模の縮小傾向により、柔軟な人員配置ができず、人員効率は低位が続いている

有料老人ホーム市場の推移①



※職員数は常勤換算。ただし、99年以前は実数
（出所） 厚生労働省「平成22年度社会福祉施設等調査」

有料老人ホーム市場の推移②



※職員当たり入居者数＝入居者数／常勤換算職員数
（出所） 厚生労働省「平成22年度社会福祉施設等調査」

1. 介護市場の動向 （参考3/7）

2006年4月　介護保険法の改正

⇒各自治体が特定施設の新規開設を制限することが可能に

⇒新規開設を制限する際の根拠として、参酌標準が使用される

2010年　行政刷新会議

⇒2012年度からの撤廃を決定

地方の財政状況は厳しいものの、国は在宅・施設とも介護事業を支援する方向。当社では今後、特定施設の総量規制は緩和される方向に向かうと想定している。

（特定施設とは）

都道府県から「特定施設入居者生活介護」の指定を受けて、以下に入居された利用者に介護サービスを提供する事業所を指す。

1.有料老人ホーム
2.養護老人ホーム
3.軽費老人ホーム（ケアハウス）
4.適合高齢者専用賃貸住宅

（参酌標準とは）

各市町村が介護保険事業計画を策定する際に、各種サービス見込み量を定めるに当たり参酌すべきものとして、厚生労働大臣が示す目安。

具体的には、「介護保険三施設、グループホーム、介護専用型特定施設の利用者数を、要介護2～5の高齢者数の37%以下とする」というもの。

第5期介護保険事業計画期間（2012～2014年度）から撤廃される。

2. 介護施設の概要 （参考-4/7）

※青字は当社の事業領域

<table>
<tr><th></th><th>対象</th><th>都道府県が指定・監督</th><th>市町村が指定・監督</th></tr>
<tr><td>介護給付サービス</td><td>要介護1～5</td><td>
◆居宅サービス
【訪問サービス】
○訪問介護（ホームヘルプサービス）
○訪問入浴介護
○訪問看護
○訪問リハビリテーション
○居宅療養管理指導
【通所サービス】
○通所介護（デイサービス）
○通所リハビリテーション
【短期入所サービス】
○短期入居生活介護（ショートステイ）
○短期入所療養介護
○特定施設入居者生活介護
○特定福祉用具販売
○福祉用具貸与
◆居宅介護支援
◆施設サービス
○介護老人福祉施設（特養）
○介護老人保健施設
○介護療養型医療施設
</td><td>
◆地域密着型サービス
○夜間対応型訪問介護
○認知症対応型通所介護
○小規模多機能型居宅介護
○認知症対応型共同生活介護
（グループホーム）
○地域密着型特定施設入居者生活介護
○地域密着型介護老人福祉施設
入所者生活介護
</td></tr>
<tr><td>予防給付サービス</td><td>要支援1・2</td><td>
◆介護予防サービス
【訪問サービス】
○介護予防訪問介護
（ホームヘルプサービス）
○介護予防訪問入浴介護
○介護予防訪問看護
○介護予防訪問リハビリテーション
○介護予防居宅療養管理指導
【通所サービス】
○介護予防通所介護（デイサービス）
○介護予防通所リハビリテーション
【短期入所サービス】
○介護予防短期入居生活介護（ショートステイ）
○介護予防短期入所療養介護
○介護予防特定施設入居者生活介護
○介護予防特定福祉用具販売
○介護予防福祉用具貸与
</td><td>
◆地域密着型介護予防サービス
○介護予防認知症対応型通所介護
○介護予防小規模多機能型居宅介護
○介護予防認知症対応型
共同生活介護（グループホーム）
◆介護予防支援
</td></tr>
</table>

2. 介護施設の概要 （参考-5/7）

	施設の概要	特定施設の指定の有無
		介護サービス提供主体
介護付 有料老人ホーム	介護が必要になっても、入居施設が提供する介護サービス等を利用しながら居住継続が可能。	○（特定施設）
		施設内の職員
住宅型 有料老人ホーム	生活支援等のサービスが付いた高齢者向けの居住施設。 施設内に介護提供体制を整備する義務はない。	×（特定施設でない）
		外部の介護サービスを自身で選択

2. 介護施設の概要 （参考-6/7）

	施設・事業所の概要
認知症対応型 共同生活介護 （グループホーム）	認知症などの高齢者が一般の住宅で地域社会に溶け込みながら生活することを目的とする。
短期入所生活介護 （ショートステイ）	介護を受ける高齢者が短期間入所し、食事や入浴といった日常生活全般の介護、機能訓練などを提供。
通所介護 （デイサービス）	在宅での介護を必要とされる高齢者を対象に入浴や体操・レクリエーションなどの各種サービスを提供し、自立を支援する。
訪問介護 （ヘルパーサービス）	ホームヘルパーが自宅に伺って、介護を必要とされる方の日常生活の手伝いを行う。

2. 介護施設の概要 （参考-7/7）

	施設・事業所の概要
居宅介護支援 （ケアプラン作成）	どのような介護サービスをいつ、どのくらい利用するのが良いか、高齢者にとって最適となるケアプランを作成。
小規模多機能型 居宅介護	「通い」を中心に、要介護者の様態や希望に応じて「訪問」や「泊まり」を柔軟に組み合わせ、介護度が中重度となっても在宅での生活が継続できるように支援していくサービス。
福祉用具サービス	高齢者の身体状況や住宅環境に合わせ、自立支援をサポートするための福祉用具をレンタルおよび販売にて提供。

【免責事項】
　この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ウチヤマホールディングス（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

　当資料に記載された内容は、2013年3月9日現在において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

　投資を行う際は、投資家ご自身のご判断でなされるようお願い申し上げます。